

平成25年4月17日

投資者の皆様へ

T&Dアセットマネジメント株式会社

エマージング債券市場および金市場動向による
野村エマージング債券投信(通貨・代替通貨選択型)への影響について

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

足許におけるエマージング債券市場および金市場の動向と、「野村エマージング債券投信(金コース)毎月分配型および年2回決算型」(以下、「当該ファンド」といいます。)への影響に関しまして、以下のとおりご案内いたします。

今後ともお引き立てを賜りますようよろしくお願い申し上げます。

敬具

◆ 足許の市場動向

エマージング債券市場:

中国の第1四半期のGDP成長率が前年同期比で7.7%となり、市場予想の8.0%を下回ったほか、米国で発表されたNAHB(全米住宅建設業者協会)の建設業者指数が予想外の低下となったことなどを背景に、全般的にリスクオフの環境となったものの、米ドル建エマージング債券市場については大きな変動はなく、JPモルガンEMBIグローバル・ダイバーシファイド(米ドル建)は前日比▲0.01%とほぼ横ばいとなりました。

金市場:

先週、米大手金融機関が今年の金価格の見通しを下方修正したことに加え、財政危機に陥っているキプロスの中央銀行が資金確保のために保有する金の売却を検討していると伝わったことなどから、これまでインフレヘッジとして買われていた金の売りが膨らみ、軟調に推移していた先週の流れを引き続く形で、金価格は大きく下落しました。

上述のようなエマージング債券市場および金市場の下落の影響により、当該ファンドの4月16日付け基準価額が4月15日付け対比で5%を超えて下落しました。

◆ 今後の見通し

エマージング債券市場については各国で変動にばらつきが見られるようになったものの、総じて見れば長期的に高い経済成長が期待されることから、今後も魅力的な利回り水準、安定した収益が継続すると見込まれます。

金市場については、短期的には変動が高まり下方リスクが懸念される一方、日本を含めた主要国において緩和的な金融政策が長期化する見通しから、インフレと通貨下落に対するヘッジ手段としての需要は底堅いと考えられ、長期的には金需要が拡大すると予想されます。

◆ 野村エマージング債券投信(通貨・代替通貨選択型)への影響

ファンド名	平成25年 4月15日 基準価額 (円)	平成25年 4月16日 基準価額 (円)	騰落幅 (円)	騰落率 (%)
金コース(毎月分配型)	8,772	8,006	▲766	▲8.73
金コース(年2回決算型)	9,665	8,829	▲836	▲8.65

◆ 市況情報

(小数点第2位以下四捨五入)

	平成25年4月12日	平成25年4月15日	騰落率 (%)
JPモルガンEMBI グローバル・ ダイバーシファイド(米ドル建)	688.39	688.29	▲0.01

海外の市場については基準価額への影響を考慮し、4月12日から4月15日としています。

	平成25年4月12日	平成25年4月15日	騰落率 (%)
金(ドルベース)(*)	1,482.75	1,348.21	▲9.07

海外の市場については基準価額への影響を考慮し、4月12日から4月15日としています。

(*) 金価格は、1トロイオンス当たりの米ドルベースの価格です。

出所:ブルームバーグ

以上

※文中に引用した各インデックス(指数)の商標、著作権、知的財産権およびその他一切の権利は各インデックスの算出元に帰属します。また各インデックスの算出元は、インデックスの内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。海外株式市場のデータは基準価額への反映を考慮して1営業日前のものを使用しています。

※JPモルガンEMBI グローバル・ダイバーシファイド:指数に関する一切の知的財産権とその他一切の権利はJ.P. Morgan Securities Inc.(JPMSI)に帰属しております。JPMSIは、指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。JPモルガンは指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負うものではありません。

※ 本資料は投資者にT&Dアセットマネジメントが情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等により作成したのですが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また投資信託の購入をご希望の場合は、下記のご留意事項を必ずご確認ください、ご自身でご判断ください。

ファンドのお申込みに際してのご留意事項

【ファンドの投資リスクについて】

ファンドの基準価額は、投資を行っている有価証券等の値動きによる影響を受けますが、これらの運用による損益は全て投資者に帰属します。したがって、ファンドは投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。なお、ファンドは預貯金とは異なります。

各ファンドの基準価額の変動要因となる主なリスクは次の通りです。

＜各ファンド(マネーパールファンドを除く)＞

「債券価格変動リスク」「カントリーリスク」「為替変動リスク」「金価格変動リスク」

＜マネーパールファンド＞

「債券価格変動リスク」

※ 基準価額の変動要因(リスク)は上記に限定されるものではありません。

◎分配金に関する留意点

- ・ 分配金は、計算期間中に発生した運用収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。したがって、分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
- ・ 受益者の購入価額(個別元本の状況)によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。
- ・ 分配金はファンドの純資産から支払われますので、分配金支払後の純資産は分配金相当額が減少し、基準価額が値下がりする要因となります。

【ファンドの費用】

■投資者が直接的に負担する費用

◇ 購入時に負担いただく費用

購入時手数料	購入価額に対して 3.15%(税抜 3.00%) (マネーパールファンドの購入はスイッチングによる場合のみとします。)
--------	---

◇ スwitchング時に負担いただく費用

スイッチング時手数料	購入価額に対して 1.575%(税抜 1.50%) (マネーパールファンドへのスイッチングには手数料はかかりません。)
------------	---

◇ 換金(スイッチングのための換金を含む)時に負担いただく費用

信託財産留保額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額に 0.3% の率を乗じて得た額を、ご換金時にご負担いただきます。(マネーパールファンドには信託財産留保額はかかりません。)
換金手数料	ありません。

■投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用 (信託報酬)	毎日、各ファンドの純資産総額に下記の率を乗じて得た額 ●各ファンド(マネーパールファンドを除く):年 0.924%(税抜 0.88%) 実質的にご負担いただく信託報酬率 :年 1.674%程度(税抜 1.63%程度) (信託報酬に、ファンドが投資対象とする外国投資信託の信託報酬を加えた概算値) ●マネーパールファンド :年 0.5775%(税抜 0.55%) 以内
その他の費用・手数料	【監査報酬】毎日、各ファンドの純資産総額に下記の率を乗じて得た額 ●各ファンド(マネーパールファンドを除く):年 0.0084%(税抜 0.008%) ●マネーパールファンド :年 0.00525%(税抜 0.005%) 【その他】証券取引に伴う手数料等をファンドでご負担いただきます。これらの費用・手数料については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率・上限額等を示すことができません。

※当該手数料等の合計額については、投資者がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※詳細につきましては必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をお読みください。

販売会社の名称等

販売会社		登録番号	日本証券業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
野村證券株式会社	金融商品 取引業者	関東財務局長(金商) 第142号	○	○	○	○

※加入協会に○印を記載しています。